

議第 23 号議案

米軍横田基地への C V - 2 2 オスプレイの本格配備に反対する意見書

上記議案を別紙のとおり提出いたします。

平成 30 年 9 月 20 日提出

|     |         |    |    |
|-----|---------|----|----|
| 提出者 | 新座市議会議員 | 芦野 | 修  |
| 賛成者 | 〃       | 高邑 | 朋矢 |
|     | 〃       | 笠原 | 進  |
|     | 〃       | 辻  | 実樹 |
|     | 〃       | 石島 | 陽子 |
|     | 〃       | 工藤 | 薫  |
|     | 〃       | 小野 | 大輔 |

提 案 理 由

米軍横田基地への C V - 2 2 オスプレイの本格配備をしないよう求めるため、この案を提出する。

## 米軍横田基地へのC V-22オスプレイの本格配備に反対する意見書

防衛省は本年8月22日、米空軍の特殊作戦機C V-22オスプレイ5機が10月1日付けで米空軍横田基地に正式配備されると発表しました。米軍は、2024年頃までに残り5機と要員450人を配備し、10機態勢にする方針です。

既に、4月から8月までの4か月の間に300回を超える訓練が横田基地周辺で繰り返されており、7月2日と11日には、事前通告もない中、突如新座市上空に飛来しました。2日の目撃情報では、新座市内を数回にわたり旋回し、米軍大和田通信所上空でホバリングし、米軍所沢通信基地に着陸したというものです。今回の飛来について、米軍は「訓練の一環」と答えています。

本来訓練施設でない米軍大和田通信所上空でホバリングを行い、所沢通信基地に離着陸が行われ、本格配備される前から自由勝手に飛び回り、今後本格配備されれば、更に新座市上空を我が物顔で飛び回ることが懸念されます。

C V-22オスプレイは、低空飛行や夜間飛行ができる装備があり、特殊作戦を遂行する機体で、事故率はM V-22オスプレイの7倍に達する機体とされています。こうした危険極まりないオスプレイが自由気ままに飛び回り、更にものすごい爆音を放ち、住環境は著しく脅かされ、国民・市民は大きな不安を抱えています。

また、航空法等日本の法律を全く無視し、米軍の思い通りに飛び回ること自体異常と言わなければなりません。

米軍大和田通信所周辺は、学校や保育園、住宅もあり、市民の命と安全が今後ますます脅かされる危険があります。

よって、市民の命と安全を守るためにもオスプレイの飛行は直ちにやめさせるとともに、米軍横田基地への配備撤回を米政府並びに米軍当局に申し入れるよう強く求めるものです。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年9月 日

埼玉県新座市議会

内閣総理大臣 様  
外務大臣 様  
防衛大臣 様